



国内グループを対象とした2022年度の環境会計^{※1}を、以下にまとめました。集計期間は2022年4月1日～2023年3月31日です。

分類	主な取り組み内容	投資額	費用額
(1) 事業エリアコスト	-1 公害防止コスト	排水処理設備の増強、大気汚染防止設備の増強	458 995
	-2 地球環境保全コスト	省エネ対策設備への更新、蛍光灯のLED交換	662 565
	-3 資源循環コスト	排熱利用設備、廃棄物処理費用	20 984
(2) 上・下流コスト	容器・包装リサイクル	0 2	
(3) 管理活動コスト	環境監視・改善・人件費	0 375	
(4) 研究開発コスト	環境負荷の抑制	0 517	
(5) 社会活動コスト	環境保全地域支援費用	0 10	
(6) 環境損傷対応コスト	-	0 0	
合計^{※2}		1,140	3,448

分類	項目	2022年度	2021年度との差
(1) 事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量 (千GJ)	3,110	-267
	総物質投入量 (千トン)	236	-25
	水資源投入量 (千m ³)	8,498	78
(2) 事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量 (千トンCO ₂)	185	-13
	生産活動:エネルギー起因	149	-36
	生産活動:その他	27	9
	物流起因	10	1
	PRTR法対象物質排出量 (トン)	143	-12
	廃棄物排出量 (トン)	25,157	-4,007
	廃棄物最終処分量 (トン)	1,095	145
	総排水量 (千m ³)	6,421	-221
	COD排出量 (トン)	148	-6
	NOx排出量 (トン)	55	0
SOx排出量 (トン)	7	2	

効果の内容	金額	
① 収益	主たる事業で生じた廃棄物のリサイクルまたは使用済み製品等のリサイクルによる事業収入	403
	その他の事業収入	0
② 費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	37
	省資源またはリサイクルにともなう廃棄物処理の節減	16
	その他の節減	7
合計^{※2}	463	

過去からの推移

分類	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
環境保全コスト 国内グループ	投資額 (百万円)	593	686	1,203	1,300	1,140
	費用額 (百万円)	2,741	2,657	3,136	3,155	3,448
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果 日油グループ	総エネルギー投入量 (千GJ)	3,477	3,330	3,247	3,377	3,110
	総物質投入量 (千トン)	273	253	231	261	236
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果 日油グループ	水資源投入量 (千m ³)	8,061	8,232	8,319	8,420	8,498
	温室効果ガス排出量 (千トンCO ₂)	214	205	195	198	185
	生産活動:エネルギー起因	182	173	167	172	149
	生産活動:その他	23	23	20	18	27
	物流起因	9	9	8	9	10
	PRTR法対象物質排出量 (トン)	177	158	147	155	143
	廃棄物排出量 (トン)	30,161	28,446	28,955	29,164	25,157
	廃棄物最終処分量 (トン)	1,046	1,302	1,588	950	1,095
	総排水量 (千m ³)	5,954	6,424	6,552	6,642	6,421
	COD排出量 (トン)	302	441	219	154	148
NOx排出量 (トン)	64	55	57	55	55	
SOx排出量 (トン)	7	6	4	5	7	

※1 社会との良好な関係を保ちつつ、環境保全への取り組みを効率的かつ効果的に推進していくことを目的として、事業活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量的 (貨幣単位または物量単位) に測定し伝達する仕組みのこと。

※2 端数処理により合計が合わないことがあります。